

学校運営計画				評価(3月)		
学校運営方針	県立高校として福岡県の目指す教育目標に沿いながら、校訓である「進取、至誠、自治」の精神を涵養する教育を行う。					
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標				
各教育活動における取組や指導が上手く機能し、一定の成果を収めることができた。しかしながら、主体的に課題解決に取り組む、困難に耐えながらそれを乗り越えていく態度の育成については、創立百周年行事に係る諸活動も視野に入れ、継続して取り組む必要がある。	確かな学力の育成	興味・関心をひく授業や個別指導をととして、学ぶ意欲のさらなる向上を図り、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。				
	キャリア教育の充実	キャリア教育の体系化により、生徒の主体的な活動をとおして、自己を高め進路目標が達成できる能力を身に付けさせる。				
	生徒会活動の活性化、安全に対する意識の向上	「進取、至誠、自治」の校訓の精神に則り、生徒の主体的な活動を促すとともに、交通安全を含む危機管理意識の向上を図る。				
	地域・同窓生との連携	創立百周年の意義を踏まえ、各行事を円滑に遂行し、周年行事をととして生徒のさらなる成長と自立を図る。				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題	
学力向上	基礎・基本の徹底	授業規律、教室環境の整備、挨拶の徹底を学年部や健全育成部と連携して指導する。	A	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度においても基本的な生活習慣の確立のために、学年や担任との間での情報交換を一層密にしていく。また教科と学年との連絡会を学期ごとに行う機会を設けて教科と学年との連携をとっていきたい。 ・ICT等の活用については、定着してきている。ICTの活用事例をデータベース化し、活用の促進を図りたい。 ・教育課程については、引き続き教育課程検討委員会や運営委員会をととして検討をしていく。また新学習指導要領へ向けて情報収集を図る。
		基本的な生活習慣の中に学習時間を確実に位置づけさせるとともに、学習習慣の定着度を分析し、授業改善に反映させる。	A			
	思考力・判断力・表現力の育成	各教科で「思考・判断・表現」の観点に係る問題を少なくとも1題は定期考査に入れる。	B	B		
		ICTの活用や言語活動の充実に留意した授業を行う。	B			
学習指導及び評価の充実と新たな教育課程の編成	高校3年間の指導計画、評価観点・評価方法等を生徒に説明し、見通しを持って生徒が授業に臨めるように工夫する。	A	A			
	平成30年度へ向けて教育課程を検討する。	A				
企画・広報	学校行事等の迅速な準備と正確な記録、円滑な運営	各行事の計画を2ヶ月前から行い、各部・各班や学年との連絡調整を緊密に行う。	B	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の円滑な運営を図るために、総務班会議を学期毎に設定し、併せて担当当事者会議も適宜設定していきたい。また、各部・各学年との調整を早期に行うことで、学校行事の準備を入念に行うことができる。 ・広報活動充実のために、広報紙、校外掲示板の活用法を検討しながら学校紹介及び説明会の充実を図る。 ・学校のPRとなるような情報の提供を職員に要請するとともに、中学生や保護者、地域へ効果的な広報活動を工夫する。
		父母教師会行事の円滑な運営を補佐することをとおして保護者との共通認識を深める。また、創立百周年に向けて同窓会との連携を図る。	A			
	入学者選抜の志願者倍率1.2倍超	広報紙を計画的に発行するとともに、中学校訪問や塾訪問を計画的に行い、本校の良さを中学生やその保護者、地域に伝える。	A	A		
学校ホームページの更新を週1回以上行い、生徒の活動の様子や本校の教育活動の特徴等を好時機にPRする。		A				
キャリア育成	進路(キャリア)意識の高揚	「総合的な学習の時間」(「志講演」を含む。)を充実させ、計画的に運営することにより進路(キャリア)意識の高揚を図る。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間については、各学年を中心に行っているが、その目的を再度明確にすることで全職員で共通認識し、進路実現につながるように3年間を見通した取組を行っていく必要がある。 ・模試の分析や面接などの指導は丁寧に行っている。進路実現に係る最新の入試情報システムを把握し、全職員で情報が共有できるようにしていく。 ・模試の総合判定が、全ての学年で目標を達成できていない。生徒の学力向上の手立てを今後も学年会や教科会で探究し、実施していく。
		学年別進路講演会や保護者会などを通じて保護者との情報を共有を図り、家庭におけるキャリア教育を推進する。	A			
	個に応じた指導の徹底	模擬試験成績の分析により、教科会等で具体的方策を立て、すべての教科で生徒の実態に応じた指導を実践し、学力の伸長を図る。	B	B		
三者面談、教科担当者による面談を計画的に実施するとともに、生徒の進路実現に向けて、緊密な情報交換により全職員共通した指導を行う。		A				

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題		
研修・図書	職員の資質の向上	いじめ防止や特別支援教育の充実などの今日的な課題に関する研修を計画的に実施する。 教科の目標を明確に示して、その達成度を客観的に判断できる研究授業及び授業アンケートを実施する。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館イベントや1年生の図書館オリエンテーションを活用したり、図書委員の主体的活動を支援してたりしながら読書の推進を図る。 ・職員研修については、教科指導や人権教育に係る研修会を充実させ、職員に校外での研修会への参加を促していく。 		
	読書の推進	朝読書を通して、生徒の読書に親しむ態度を育成する。 読書推進の活動を生徒(図書委員会)主体で実行し、図書館だより等を定期的に発行する。	A				
健全育成	生徒会活動の充実、部活動の活性化	生徒会や各種委員会の年間計画の立案により、主体的に活動させるとともに、生徒会役員を中心に学校行事を自主的に運営させる。 体験入部期間を設けて、部活動の加入率を運動部55%、文化部25%以上とし、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を行う	B	B			
	安全教育の徹底による事件・事故等の未然防止	全校集会や学年集会、ホームルーム活動等で安全教育を行い、自他への思いやりや命の尊さに対する生徒の意識を高める。 「交通安全講話」等の実施により交通安全の意識を高めさせ、交通マナーの向上を図り、事故防止に努める。	A				
健康・安全	生徒・職員の健康維持増進	生徒の保護者と連携し、各科の健康診断毎に治療勧告を行うことで早期治療及び事後処置の徹底を図る。また、流行性感冒等の予防に努める 教育相談委員会(いじめ問題対策委員会)等を定期的の実施して早期発見・早期対応に備えるとともに、長期欠席防止やいじめ防止等に努める。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・創立百周年記念事業で培った生徒の主体的な活動を来年度も支援していきたい。 ・「三高祭」の名称を残し、本校の学校文化の一つとしたい。 ・携帯電話等の校内でのルール of の徹底や使用方法について、生徒会執行部による主体的な啓発活動を行いたい。 ・部活動数の削減を継続して検討したい。 ・部活動加入率80%の目標を達成するために、新1年生の学年と協力体制を築きたい。 		
	教育環境の整備	外部講師による講演やホームルーム活動における講話、保健委員会活動の活性化により、生徒全員に自己管理意識を高めさせ、事故防止を図る。 月一大掃除の実施や、ゴミの持ち帰りの徹底や減量化に向けた美化委員による活動を行う。	A				
同窓会	創立百周年事業の充実	創立百周年に向けて、同窓会と校内実行委員会の連携を充実させ各行事の円滑な運営を図る。	A	A		A	職員、生徒共に周年行事関係の業務で多忙であったが、達成感を感じることができた。伝統を引き継ぎ、本校のさらなる発展の礎としたい。
学年経営	(第1学年) 基本的な生活習慣の確立及び基礎学力の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・規律を守り三池高校生らしい生活を送らせる。 ・自己管理能力を向上させるとともに、自らを見つめる機会をつくる。 ・英数国を中心とした家庭学習習慣の確立を図る。 	B	B	(第1学年) <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣については、概ね目標に近づけた。また、ボランティア活動や資格取得・希望制の外部模試に積極的に参加する生徒が増えた。今後も、何事にも意欲的・積極的に参加できるようにさらに指導していきたい。 ・各教科担当のきめ細かい指導により少しずつ力がついてきているが、さらに工夫が必要である。また、成績上位者の数を増やすように個別指導を考えていきたい。 		
	(第2学年) 規律ある生活習慣の確立及び学力の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態を適宜把握し、主体的に活動できるような生徒の育成を図る。 ・進取・至誠・自治の精神を身に付けさせる。 ・将来の在り方、生き方について真剣に考えさせる。 	B		(第2学年) <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立が不十分な生徒も若干見られるので引き続き指導を継続していく必要がある。 ・学校の中核として、創立記念行事や三高祭などでリーダーを中心にその役割を果たしてくれた。この経験を生かして、次年度は最上級学年として下級生への指導も行い大運動会を成功させたい。 ・進路実現は、生徒の第一の目標であるので、生徒に目標実現のための努力を惜しまないこと、諦めないで最後まで取り組むことなど生徒に指導・激励して、悔いのない高校生活を送らせたい。 		
	(第3学年) 豊かな人格の育成、最上級生としての意識の確立、希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教育活動をとおして、自ら考え判断し、適切に行動できる力を育成する。 ・二者面談等を通して、自立を促す個に応じたきめ細かな指導を行う。 ・生徒を促して、主体的な学習を実践させる。 	A		(第3学年) <ul style="list-style-type: none"> ・次年度のクラス編成、特にSクラスの設定について検討したい。 ・新入生に対する初期指導について、綿密な計画を立てて実行したい。それにより、生活面・学習面共に、中学校生活からの大きな変化に対応させていきたい。 ・大学入試改革に伴い、英語の指導を見直したい。併せて、英検の資格取得の必須化や英語4技能試験の1つであるGTECの導入を検討したい。 		
	(全学年共通) 職員の共通理解及び家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の変化を見逃さず、きめ細やかな指導を行う。 ・職員間の共通理解の下、すべての職員が協力して指導に当たる。 ・三者面談や学年保護者会等を通して、本校教育活動に対する保護者の理解を深め、家庭との連携を図りながら、個に応じた指導の徹底を図る。 	B		B		